

## ★AALAニュース編集体制についてのお知らせ

AALAニュースも出発から3年目に入り、66号を数えました。少しずつ読者や協力者がふえています。いっそうの拡充をはかるためにここで編集体制を刷新することにしました。常任理事で埼玉AALA理事長の河内研一さんと日本AALA理事で北海道AALAの鈴木頌に交代でエディターをお願いすることにしました。新しい体制について12月号の機関紙でも報告しますが、67号からスタートします。

### エディターからの一言

色々ありまして、しばらくの間「AALA ニュース」のエディターを務めることになりました。

エネルギーを外向きに発散させるよう心がけます。モットーは「面白くタメになる」です。

AALAの機関紙が主食なら、事務局ニュースはおかずで、こちらはデザートです。モットーは「あとあじ爽やか」です。

読者を増やして、書き手を増やします。読者が減って書き手が減ると、話が内向きになってうっとうしいです。

「一を聞いて十を知り百しゃべる」ようにしないと書き手は育ちません。知ったかぶりがAALAの命です。

非同盟運動と多国間主義は私たちの運動の原則です。基本的にはこの方向に沿った発言を期待します。

「AALA ニュース」とは言いますが、通信社ではないので速報性は求めません。「キューズ」で良いので、各国の自主独立を尊重する情報提供をお願いします。

地方発の情報を重視します。各都道府県のAALAのニュースを積極的に掘り起こします。

(鈴木 頌)